

2015 11.1

市報

ひがしまつしま

心通わせる「イート＆イ〜る運動」

思いやりと奉仕、感謝を大切に



矢本第一中学校のあいさつ運動では、子どもたちが道を行く人や学校前を通る車に大きな声で「おはようございます」と呼びかけています(10月15日、矢本第一中学校前)



赤井小学校では、授業終了後に全校児童が「掃除上手のさしすせそ」に従って、「さっと」「しずかに」「すみずみまで」「せいっぱい」「そうじ」をしています。毎日過ごす教室がきれいになる喜びを感じています(10月5日、赤井小学校)



宮戸小学校の「もくもく清掃」は、毎週末曜日に全校児童が午後の授業開始前におしゃべりをせずに、集中して清掃活動を行います。きれいになった教室での授業は一段と身が入ります(10月15日、宮戸小学校)

市内の各小・中学校で子どもたちの自主性や思いやり、優しい気持ちを育む「心あったかイトころ運動」が行われています。感謝の気持ちで学校をきれいにする「清掃活動」、明るく元気な声で心の輪を広げる「あいさつ運動」、学校周辺のゴミを拾い、きれいな地域を目指す「ゴミ拾い運動」の3本柱からなり、熱心に取り組む児童生徒の姿が見られます。次代を担う子どもたちの健やかな成長は、復興への大きな力になっています。
今号の特集では、市の学校教育における施設の復興状況、地域に根差した活動など様々な事業を紹介します。



鳴瀬未来中学校の「クリーンDays」は、毎週水・金曜日に実施しています。地域からポイ捨てをなくそうと、学校周辺のゴミ拾い活動を展開して環境美化に努めています(10月21日、鳴瀬未来中学校周辺)



鳴瀬桜華小学校では毎週1回、始業前に学年持ち回りで校内外の清掃活動を行っています。児童たちは背丈よりも大きな竹ぼうきで落ち葉などを集め、学校と地域をきれいにしていました(10月5日、鳴瀬桜華小学校)

市報
ひがしまつしま
No.182

- 特集 東松島市の学校教育における施策と施設の整備状況 ----- P2~P5
- まちの情報広場 --- P6~P8
- 市民協働のまちづくり ----- P9
- City View ----- P10~P11
- もっと知りたい!ひがしまつしま --- P12~P13
- 知っ得情報 ----- P14~P17
- ヘルシーインフォメーション ----- P18
- 戸籍のまどほか ----- P19
- 市民のカレンダー ----- P20

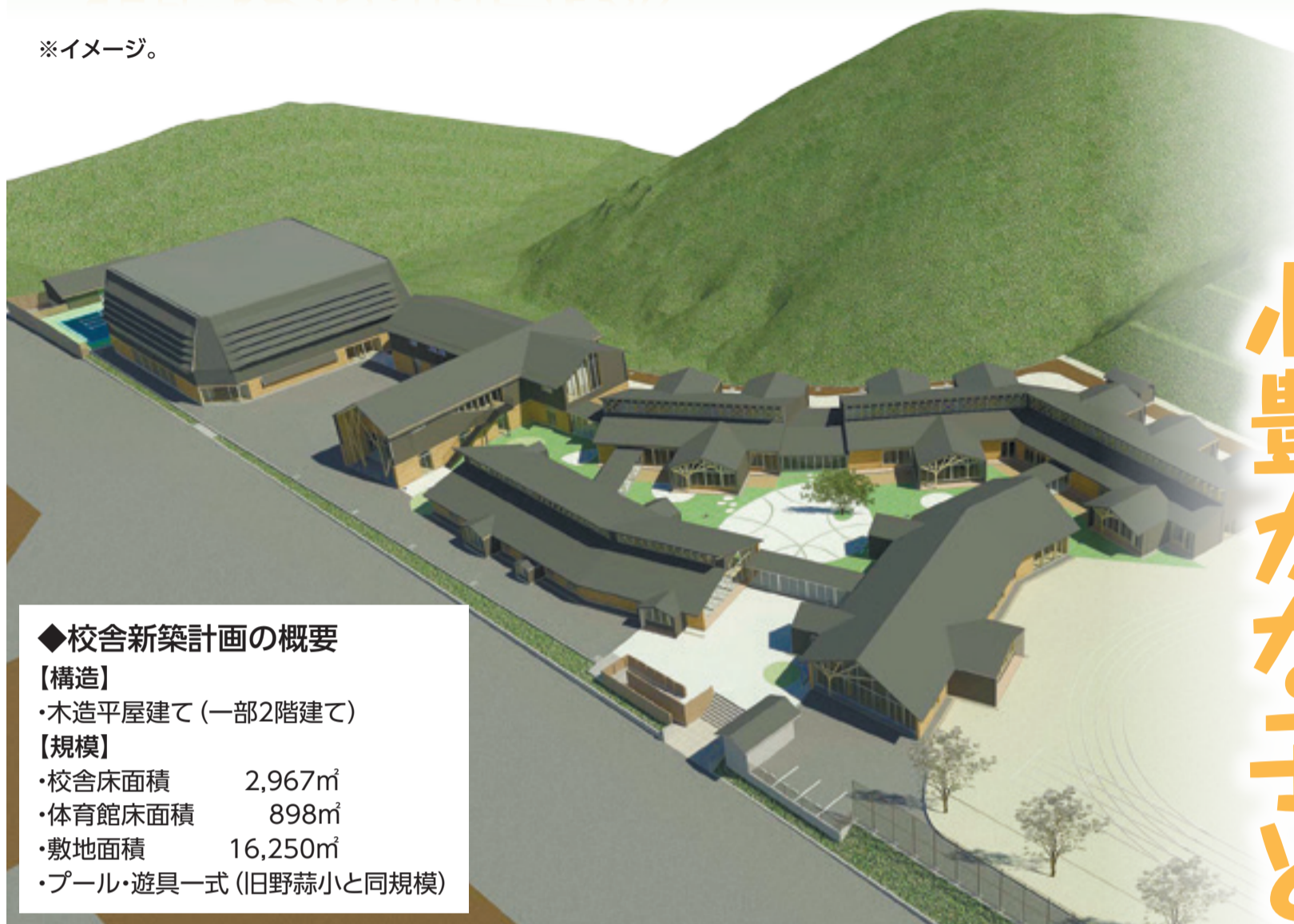


東松島市キャラクター イート&イ〜ナ (右) (左)

宮野森小学校

「森の学校」がコンセプト

※イメージ。



自然が育む はぐく

心豊かな子どもたち

◆校舎新築計画の概要

【構造】

・木造平屋建て(一部2階建て)

【規模】

- ・校舎床面積 2,967㎡
- ・体育館床面積 898㎡
- ・敷地面積 16,250㎡
- ・プール・遊具一式(旧野蒜小と同規模)

校舎完成は28年12月予定

宮戸小学校と野蒜小学校は学校復興方針のもと、平成28年4月から統合校「宮野森小学校」になります。28年4月から12月までは、現在の野蒜小学校の仮設プレハブ校舎(小野字中の関)で授業を行うこととなりますが、29年1月からは野蒜北部丘陵の集団移転地内に新設される校舎が供用開始となります。新校舎の建築工事は今年の10月からすでに始まっており、完成は28年12月を見込んでいます。

宮野森小学校のコンセプトは「森の学校」。東松島市復興大使でナチュリストのC.W.ニコルさんの支援で整備された校舎の北側に広がる「復興の森」などを活用し、自然豊かな環境で、心豊かな子どもたちを育む教育を目指します。

校舎は、木造建築の平屋建てで、特別教室棟と図書棟はこだわりの持った造りとなっています。

今後は、授業の一環として森を活動の場にした教育プログラムを検討していく予定です。

校歌の制作を 加藤登紀子さんが担当

子どもたちの思いを曲に、イメージ膨らませます

宮野森小学校の校歌制作は、鳴瀬未来中学校の校歌も手がけた歌手の加藤登紀子さんが担います。統合準備委員会では、加藤さんに校歌への思いなどを知ってもらうため、意見交換会をこれまで2回開き、そのうち、今年6月には野蒜小学校と宮戸小学校で各校の児童と交流会も行いました。加藤さんは、両校の校歌に耳を傾けながら、子どもたちの抱く想いや要望も汲み取り、イメージを膨らませていました。また、実際に市内を見てまわり、野蒜北部丘陵にある復興の森の「うまのひづめ展望デッキ」に登頂。自然豊かな周辺の景色を眺めながら作詩作業をしていました。

宮野森小学校の校歌は平成28年2月ごろにお披露目される予定です。



かしこく、やさしく、たくましい
子どもたちを育てる海と森の学校

宮戸小学校・野蒜小学校統合準備委員会で決定した上記の校章は、下段左右のハマヒルガオが学区となる宮戸・野蒜地域を表し、中央のハマヒルガオが2つの地域をつなぐ小学校を表しています。

ハマヒルガオの花言葉である「絆」を大切に、かしこくやさしい子どもたちに育ってほしいという願いが込められています。

上段に配置されている「松」、そして中段に配置されている「波(太平洋)」は、「自然」を表現しています。これは、学校建設計画のコンセプトでもある「海と森の学校」を象徴するとともに、自然の中でたくましい子どもたちに育ってほしいという願いが込められています。

鳴瀬未来中学校 心のケアや命の教育も

※イメージ。

◆校舎新築計画の概要

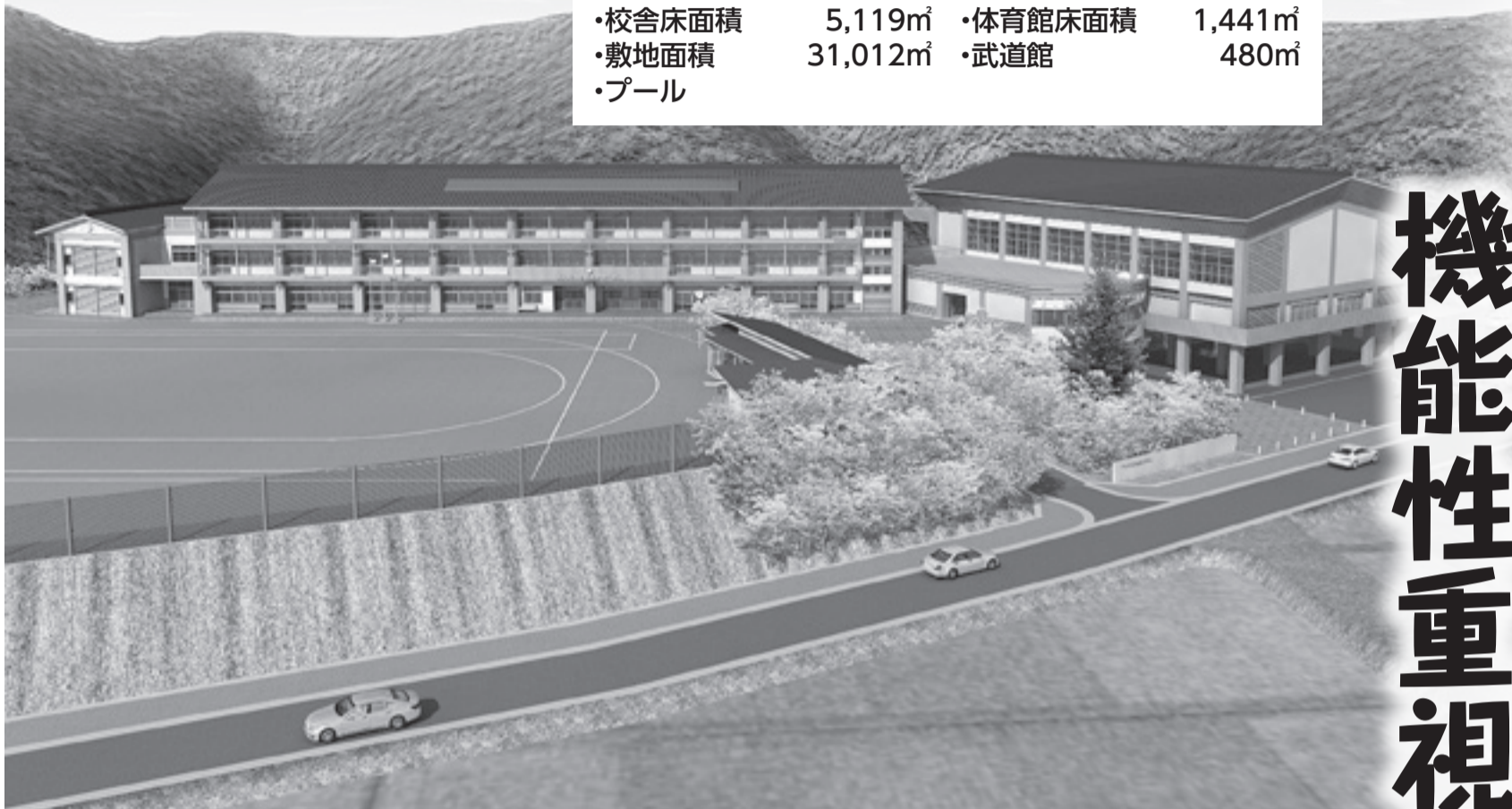
【構造】

・鉄筋コンクリート造(3階建て)

※木造と遜色ない外観。内装木質化。

【規模】

・校舎床面積	5,119㎡	・体育館床面積	1,441㎡
・敷地面積	31,012㎡	・武道館	480㎡
・プール			



生徒たちの将来のため
機能性重視の校舎

29年度内の供用予定

震災により旧鳴瀬第一中学校と旧鳴瀬第一中学校が統合してできた「鳴瀬未来中学校」の新校舎が鳴瀬地区の中下地区に建設されます。現在、旧鳴瀬第一中学校を校舎にしていますが、統合による生徒の増加により、校庭を含めた教育環境の狭さが問題となっているために移転新築することになりました。

現在は、敷地の造成工事に着手しており、周辺環境も含めた建設事業が進んでいきます。供用開始は、平成29年度内になる見込みです。

新校舎は防音性能を備え、特別教室を充実させた造りとなっており、敷地面積を有効活用するため、鉄筋コンクリートの3階建てで、外観や内装は木造の雰囲気を感じさせるようなデザインと材質を採用しています。

市としては、子どもたちが自分で将来を考え、選択できる力を養える場として、豊かな自然の恵まれた環境の中で、生徒たちの心のケアや命の教育を融合させた学校づくりを目指します。

移転候補地



①現地拡張案

※いずれの場合も校地については、概ね15,000㎡を確保する予定です。

②市役所鳴瀬庁舎の北・東エリア

①現地拡張案

現在の鳴瀬桜華小学校用地の隣接地を取得し、仮設プレハブ校舎を撤去のうえ、体育館の撤去・移設を検討し、校庭の面積を確保。校舎については、既存施設の利用と新設の両面で検討します。

②市役所鳴瀬庁舎の北・東エリア

市役所鳴瀬庁舎北側から国道・県道交差点付近北側の山林農地エリア。接続道路などの付帯設備の調査・検討と必要な学校用地面積の確保を検討します。

鳴瀬桜華小学校

新校舎の候補地を検討

11月12日(木)に説明会開催

「鳴瀬桜華小学校」は震災後の平成25年4月に、旧小野小学校と旧浜市小学校が統合して誕生しました。現在、子どもたちは旧小野小学校の校舎を利用して学んでいます。統合したことによる校舎や校庭などの狭さが大きな課題となっており、市は現在、新校舎の候補地の適地調査を行っています。これまで3回にわたり地域のみなさんとの懇談会を行い、そこで出た意見も参考にしながら「現地再建」、または「市役所鳴瀬庁舎の北・東エリア移転」の2つの候補案から選定する方針です。

これまでの調査・検討に関する説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。

【鳴瀬桜華小学校復興方針説明会】

- 日時 11月12日(木)19時
- 場所 小野市民センター2階講義室

■宮野森小学校・鳴瀬未来中学校の整備に関する問
教育総務課復興調整班 ☎内線 1255

心あったかイートころ運動

あいさつ運動



▲朝の登校時間、地域には「おはようございます!」と子どもたちの大きな声が響きます(10月19日)

声かけで強まる地域の絆

「コミュニケーションの基本となる「あいさつ」。子どもたちの思いやりの心や社会性を育成するため、市内の小・中学校は「あいさつ運動」に力を入れていきます。」

大塩小学校では、毎朝7時半にボランティアの皆さんが学校近くの通学路に立ち、子どもたちを見守っています。緑色のジャンパーを着たボランティアの方を見つけると、子どもたちは「目散に駆け寄り、立ち止まって大きな声で「おはようございませ〜!」。目を見て頭を下げた姿が随所で見られます。」

工藤梨帆さん(6年)は「あいさつで人と人がつながることは素晴らしいことだと話していました。」

毎日下校前に校長室に立ち寄り、「さようなら」のあいさつをする齋藤栞奈さん(2年)は「あいさつをするとうれしくなるのよくなります。笑顔で返されるとうれしくなるのでずっと続けていきます。」と話していました。

毎朝笑顔で元気いっぱい 大塩小学校



1530 運動



▲登校中に集めたゴミを計画委員に渡す児童(10月15日)

きれいで住みよいまちに

矢本東小学校では毎月15日と30日に、全校児童で「1530運動」と名付けたゴミ拾い活動を実施しています。15日は地域に落ちていたゴミを拾いながら登校し、30日は分担して校庭や昇降口、トイレなどの清掃に汗を流します。また一日を通してゴミが落ちていないきれいなところになるように、これからも活動を続けていきたいです」と話していました。

10月15日は、軍手をした児童たちが道路に落ちていたゴミを拾いながら登校しました。各児童が握りしめた小さなビニール袋は、空き缶や空き瓶、ペットボトル、吸い殻などいっぱいになっていました。



登校しながらゴミ拾い 矢本東小学校

2の日運動



▲「おはようございます!」。小学生達も元気に朝のあいさつ(10月22日)

あいさつで小学生と交流

矢本第二中学校では「2の日運動」を実施しています。毎月2のつくいずれかの日に、学区内の小学生の登校時間に合わせて、生徒会執行部と各クラスの学級委員がそれぞれの出身校に出向き、児童と一緒にあいさつ運動を行うという取り組みです。

10月22日の「2の日運動」では、生徒会副会長の三浦恭資さん(14)をはじめ執行部員と2学年の学級委員ら4人が赤井南小学校を訪問。赤井南小の3〜6年生児童約10人と一緒に校門前に立ち、あいさつ運動に取り組みました。

中学生のはきはきした明るいあいさつは小学生の心をとらせた。三浦副会長は「小学生と一緒に活動するのはとても楽しく、貴重な交流の機会でもあります。あいさつの輪をこれからも広げていければうれしいです」と話していました。



先輩たちのよいお手本に 矢本第二中学校

～家庭・学校地域での学び…子どもたちの笑顔がいっぱい～ 東松島市協働教育プラットフォーム事業

東松島市では、「心つどうまち(市民協働)」を基本理念とし、「協働のまちづくり」に取り組んでいます。地域ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりとして、現在「協働教育」の推進を目指しているところです。「協働教育」とは、家庭・学校・地域が力を合わせ、子どもの成長に応じた教育や支援を行い、地域全体でふるさとを大切に子どもたちを育てる活動のことです。本市においては、家庭・学校・地域そして行政の連携がますます推進されるよう、各地区自治協議会、各小中学校、地域ボランティアなどの皆様のご協力いただきながら平成23年度から「協働教育プラットフォーム事業」に取り組んでいます。平成27年度も各市民センターや学校を中心に三者が一体となった様々な活動支援が行われています。今回は、その活動のいくつかをご紹介します。

矢本東小学校の1～6年生35人が「日本の伝統文化を学ぼう」ということで、茶の湯体験を行いました。お茶の作法について学んだ後に、甘いお菓子と、自らたてた抹茶をいただきました。



矢本東市民センター
～茶席体験教室～

青空の下、5月20日に矢本西小学校62人が田植えを体験しました。雨で1日遅れでの実施となりましたが、子どもたちは元気一杯に活動に取り組みました。品種はみやこがねもちで、秋にはもちつきを予定しています。



矢本西市民センター
矢本西小学校「田んぼの楽校」

地域の方々に講師やボランティアとしてご協力をいただき、「夏休み子ども塾」を開催しました。大曲小学校の子どもたちが「5.7.5(俳句)教室」「お料理教室」「チクチク(裁縫)教室」の3つのコースで学びました。



大曲市民センター
～夏休み子ども塾～

9月5日に親子での参加によるかご漁体験が行われました。天候にも恵まれ、アナゴ・かに・アイナメなどが大漁でした。また、かごの仕組みやとれた魚のつかみ方なども教わり、充実した時間を過ごしました。



野蒜市民センター
～かご漁体験～

平成27年度 東松島市協働教育講演会

12月3日(木)18時30分 市コミュニティセンター

協働のまちづくりについて講演をいただく予定です。

詳しくは、市報11月15日号「まなびい」でお知らせいたします。

●講師 鈴木孝男氏(宮城大学事業構想学部助教)

グッドデザイン賞を受賞「あかいいっこカンパニー」

ふるさとを見つめる子どもたち 愛着心の芽生えが大事



宮城大学事業構想学部助教
鈴木孝男氏

カンパニーが立ち上がり、子どもたちが自分のふるさとをしっかりと見つめたことで、大人顔負けの活動が創造されたと思います。彼らの発想力やチームワーク、地域を見る視点には、大人の私も驚かされることが多いです。

地域の将来の担い手をはぐくむためには、若いうちから地域に積極的に関わる機会や、地域を知る機会を設けることが大切です。そこからふるさとへの愛着心や帰属意識が生まれてきます。

学年の枠を越え、世代の枠も越えて、地域に「絆」を生み出そうとする子どもたち。彼らの活動が、まちづくりの活性化の一助になればうれしいです。

赤井地区民の交流の場をつくることと、赤井の野菜のおいしさを伝えようと「赤井の野菜を食べてけらいん市」などの活動を展開している「あかいいっこカンパニー」(渥美静花社長)が、27年のグッドデザイン賞に選ばれました。

同カンパニーは、矢本第二中学校区の小・中学・高校生で構成する団体です。平成24年に同地区の子どもたちが理想のふるさとについて考えた「ぼくとわたしの復興計画」をきっかけに誕生しました。



▲11月8日(日)8時から南赤井公園で開催される「子ども朝市」に向け、綿密な会議を行う子どもたち

赤井地区自治協議会 コミュニティ部会や市復興まちづくり推進員らが協力し、宮城大学事業構想学部助教の鈴木孝男氏がコーディネーターとして子どもたちをサポートしています。

グッドデザイン賞の審査委員からは「会社の立ち上げからロゴのデザイン、名刺作りまで本格的な実践の場になっている。子どもたち自身はもちろん、

サポートしたNPOや自治協、地域住民にとっても、そこから未来に向かうかけがえのない希望が生まれたことが最大の成果」との評価を受けました。

「未来への希望」が最大の成果

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。公益財団法人日本デザイン振興会が主催しており、デザインを通じて産業や生活文化を高める運動として、国内外の多くの企業やデザイナーが参加しています。

この賞は有形無形を問わず、様々な物事を応募対象として受け付けます。家電やクルマなどの工業製品から、住宅や建築物、各種サービスやソフトウェア、パブリックリレーションや地域づくりなどのコミュニケーション、ビジネスモデルや研究開発など多岐にわたります。審査でもデザインのみならず、その裏側に潜むプロセス、思想、意義など、さまざまな面を考慮し、総合的に判断・審査されます。

まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111
代表FAX 0225-82-8143
(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

市民に寄り添い復興に尽力



埼玉県さいたま市から派遣
福祉課
なかじま とおる
中島 亨さん 42歳

昨年夏、友人に誘われて、豪雨被害のあった山形県南陽市でボランティアを行いました。それをきっかけに東北の被災地を巡った際、復興の道のりはまだ長いことを実感し、派遣に手を挙げました。

東松島市に来てみるとハード面以上に、市民生活などソフト面での課題が多いことに気づきました。その中で市民の方にはとても優しく接していただき、穏やかな気持ちで仕事をしています。市民の皆さんの想いを大切にしながら、自分にできることを精一杯頑張っていきたいです。

現状を伝えることが重要

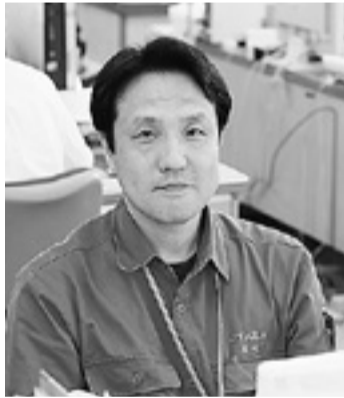


愛知県清須市から派遣
福祉課
つるた ひろあき
鶴田 裕昭さん 29歳

愛知県では震災の記憶が薄れ、ニュースもほとんどありません。しかしあれだけの被害を出した震災を絶対に忘れてはいけないと派遣を希望しました。方言が分からないことがあります、意味を聞いたりするのがとても楽しいです。東松島市は復興が早いと感じますが、市外ではまだ更地が多い地域も見られ、復興は遠く感じています。

こうした現状を、被災地から遠い地域にほど伝えていくべきだと思います。一日でも早く復興して東北のすべての人が心から笑える時が訪れることを切に願っています。

生活を支える水路づくり



香川県高松市から派遣
下水道課
いそぎき こうじ
磯崎 公治さん 43歳

地元の高松市では下水処理場の施設改築や修繕業務を行っていました。こちらでは震災の影響で地盤が下がり、工事が必要となっている大曲五味倉地区の雨水排水の設計監督業務を担当しています。

高松ではマスコミを通じた被災地の情報が年々、少なくなっています。自分の年齢を考えた時に復興に携われる機会がなくなるのではないかと思います、応募しました。派遣期間中の1年間、どこまで力になれるかわかりませんが、頑張っていきたいと思っています。

温かい激励に感謝



宮城県から派遣
農林水産課
すがわら つよし
菅原 剛さん 43歳

震災時は石巻市にある県東部土木事務所で勤務をしていました。まもなく転勤で石巻地方を離れましたが、復興に直接関わりたいという気持ちが強くなりました。派遣職員のネームプレートに気づいた市民の方から「来ていただいてありがとうございます」と温かい言葉をかけていただいたことがとても印象に残っています。

復興のスピードを上げることはもちろん大切ですが、先を見据え着実な将来性のある地域づくりに向け、頑張っていきたいと思っています。

コミュニケーションを大切に

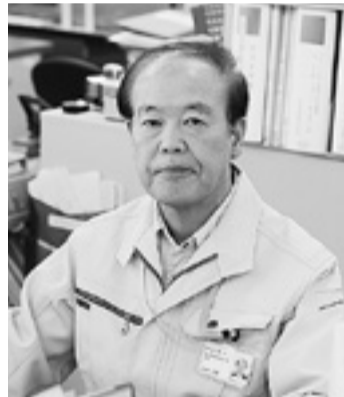


栃木県小山市から派遣
税務課
つかはら ひろふみ
塚原 弘史さん 31歳

固定資産税に関する全般的な業務に携わっています。小山市での経験を活かし、新築の家屋に対する評価調査など現場に出て市民の皆さんと直接かかわることもあります。事務的に済ませず、できるだけコミュニケーションをとるように心がけています。

直接、復興に関する仕事ではないですが、皆さんの力になれることにやりがいを感じています。東松島にはおいしい飲食店が多く、オススメはサンマの刺し身定食。古里では食べられない味を満喫しています。

道路畑の経験を活かしまい進



兵庫県から派遣
建設課
かわむら よしてつ
川村 芳哲さん 65歳

建設会社やコンサルタント会社を経て平成24年4月から3年間、自宅のある仙台市の職員として道路復旧工事の設計、施工、監督業務に携わりました。今春から兵庫県の派遣職員として東松島市に着任し、牛網地区の道路改良工事を担当しています。

約40年間、「道路畑」で仕事をしてきました。速やかな復興を望む1人として、事業に携われることにやりがいを感じています。今までの経験を活かしながら市民の皆さんの期待に応えられるように日々努力していきます。

生まれ育った東北のために

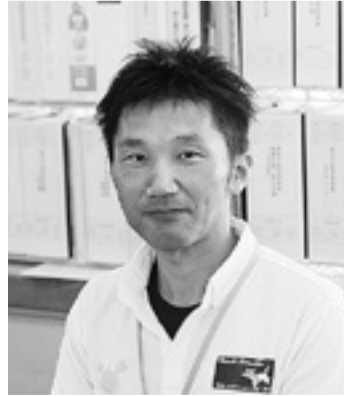


東京都大田区から派遣
商工観光課
きんの ゆうた
金野 雄太さん 32歳

大田区では住民票や戸籍の受付、自治会のサポート業務などを担当していました。出身は岩手県大船渡市で震災により実家も被災しました。生まれ育った東北のために貢献できればと思い、派遣を希望しました。

現在は特産品PRや近隣市町村と連携した観光事業を担当しています。仕事を通じて出会った方々の地域を発信するパワーや懐の深さを感じています。東松島市と災害時相互援助協定を結ぶ大田区には漁師町や羽田空港があり、東西南北で風土が異なります。ぜひ一度訪ねてみてください。

前進する人々に支えられ



愛知県豊山町から派遣
農林水産課
えさき しんじ
江崎 真史さん 44歳

地域内の分散した農地を整理することで、担い手の農業経営の効率化を図り地域産業の発展に貢献できればと思っています。豊山町では環境や都市計画などを担当してきたので全く初めての業務を行っています。

派遣をきっかけに初めて被災地を訪れました。微力ながら復興の一助になればと思い手を挙げました。いつも復興のために立ち向かう人々の姿に励まされます。航空機産業が盛んな豊山町には航空自衛隊小牧基地があり、東松島市にはとても親近感を覚えます。

東松島の復興を応援します

長期派遣職員を紹介します

●長期派遣職員の皆さんは、「桜色ペンク」のリード(ひも)がついた名札を着用しています。

まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111

代表FAX 0225-82-8143

〈東松島市内での固定電話の市外局番 0225〉

移転元地買取り(防災集団移転促進事業に伴う)申出は9月で終了しました

市では平成24年12月より、東松島市防災集団移転促進事業に伴う移転元地の買取りを進めていましたが、買取り申出の受付は平成27年9月30日をもって終了しました(市内防災集団移転地へ移転する方を除く)。

今後は、買取り申出された方や現在、抵当権や相続登記の手続き等を行っている旨の申請のあった方、市内防災集団移転地へ移転予定の方々の移転元地買取りを進めていきます。

買取り希望の方で生活再建予定や土地買取り状況の変化などがありましたら、下記までお知らせください。

■問 用地対策課用地対策班 ☎内線1483~1486

一般競争(指名競争)入札参加資格審査申請の受付

■申請受付期間 11月11日(水)~12月10日(木)

■申請方法 郵送(郵送先:〒981-0504 東松島市小松字中浮足156番地1 東松島市コミュニティセンター北側事務所 入札参加資格申請担当)または、市内に事業所がある場合は上記に持参可。受付時間は9時30分~15時 ※正午~13時、土・日曜日、祝日は除く。

■登録の有効期間 平成28~30年度(3カ年)

■申請要領 11月2日(月)から行政経営課前に掲示および市ホームページに掲載

■問 行政経営課管理契約班 ☎内線1223・1225

明日を夢見るドレス絵画コンクール開催のお知らせ

生まれ育ったまちへの「夢」「未来」「希望」「愛」を込めて描いたドレスの絵画・デッサン画を募集します。応募いただきました絵画・デッサン画は、最優秀賞作品8作品を実際にドレスとして制作し、国内・国外に発信するとともに、イベントを通じてお披露目していきます。



昨年のコンクールで制作されたドレスとイベントの様子

■応募資格 未就学児~高校生またはそれに準ずる年齢のアマチュアの方

■応募規定 未発表のオリジナル作品

■応募方法 画材は自由ですが、A4サイズ画用紙を縦に使用し、自筆のものに限ります(コピー不可)。応募カードに必要事項を記入のうえ、裏面に貼付してください。デザイン画1枚につき1作品

※1人何点でも応募可。応募カードは募集要項または「明日を夢見るドレス 募集要項のページ」からダウンロードしてください。

URL:<http://riexpress.jp/yumedress/guidelines.html>

■応募締切 12月11日(金)必着

■応募先 明日を夢見るドレス実行委員会 代表 平松利枝子
〒106-0045 東京都港区麻布十番2-3-5 麻布十番郵便局留め
事務局連絡先 ☎090-6760-6114

明日を夢見るドレス 復興支援チャリティーTシャツ

ベネトンジャパン株式会社の協力により、昨年の明日を夢見るドレス応募作品約1300点の中から6作品が選ばれ復興支援チャリティーTシャツが制作され、そのうち市内の小・中学生の応募作品が2作品選ばれました。

復興支援チャリティーTシャツは、市内の「アンテナショップまちなど」でも販売しています。

親子ペアTシャツ

キッズTシャツ



チャリティーTシャツ
2,600円(税込)

チャリティーTシャツ
2,900円(税込)

チャリティーTシャツ
2,600円(税込)

大塩小学校5年
宇参徳乃さんのデザイン

矢本第二中学校1年
尾形朱音さんのデザイン

コメント:大好きなオレンジがTシャツにたくさん描かれた模様になってたら素敵だと思います。

コメント:夢がかなうようにとの想いで流れ星で表現しました。これを見た皆の夢がかなってほしいです。

■問 教育総務課教育総務班 ☎内線1256

災害公営住宅の入居申し込みの受付を開始します

■募集内容

整備地区名	入居開始予定	形式	募集予定戸数 ※2	間取りタイプ				ペット
				1LDK	2LDK	3LDK	4K	
あおい住宅	平成28年1月	集合	3	1	2	×	×	×
小野中央住宅	平成28年1月	集合	1	×	×	1	×	×
柳の目東住宅	平成28年1月	戸建	1	×	×	×	1	×
		集合	1	1	×	×	×	

注)間取りタイプ別欄に数字が入っているものが募集戸数です。

募集戸数は、変更になる場合があります。

■申込期間 11月2日(火)~13日(金)

■申し込み 入居資格を確認しますので、下記まで問い合せください。
※入居資格は、必ず下記の【災害公営住宅の入居資格】をご覧ください。

【災害公営住宅の入居資格】

東日本大震災により住居が全壊(全流失)された方、または住居が大規模半壊・半壊し、解体を余儀なくされた方で、現在定住できる住まいに困窮している方です。

持ち家がある方や公営住宅に入居している方(ただし、応急仮設住宅として公営住宅に入居している場合や居住人数に間取りが適合せず困窮しているなどの場合は除く)、申込者および同居を予定している人が暴力団員の場合などは、申し込みできません。

上記の他に、連帯保証人1人(困難な場合は相談のうえ、緊急連絡人1人)が必要です。

■問 建設課復興住宅班 ☎内線2262・2264

第2次東松島市総合計画及び人口ビジョン・総合戦略パブリックコメント募集

市では、平成28年度から平成37年度までの10年間の総合計画の策定と併せ、平成32年度までの5カ年における人口減少に歯止めをかけるための総合戦略を策定しています。

現在、各地域における懇談会やまちづくり市民委員会において意見交換を行いながら、策定中です。今回、本計画・戦略の原案がまとまりましたので、市民の皆さんからの意見を募集します。

■募集期間 11月10日(火)まで

■閲覧場所 市ホームページおよび復興政策課窓口

■提出方法 意見提出用紙に住所、氏名、電話番号、意見を記入し、下記窓口に直接持参または郵送・FAX・Eメールで提出してください

※電話による意見提出はできません。意見提出用紙は、市ホームページからダウンロードできます。

■問・提出先 復興政策課復興政策班 ☎内線1241・1249

住所:東松島市矢本字上河戸36番地1 FAX:0225-82-8143

Eメール fukko@city.higashimatsushima.miyagi.jp

まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111

代表FAX 0225-82-8143

(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

11月は児童虐待防止推進月間です～「もしかして」あなたが救う小さな手～

ご自身が出産や子育てに悩んだ時、または気になるお子さんを見かけた時は、市の相談窓口や児童相談所に相談してください。あなたの連絡・相談が、子どもを守るとともに子育てに悩む保護者を支援するための大きな一歩となります。

児童虐待とは……

身体的虐待	殴る、蹴る、たたく、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを迫らせる、溺れさせる など
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレクト	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、きょうだい感の差別的扱い、子どもの目の前で家族に対し暴力をふるう(DV) など

【相談窓口】

■家庭児童・DV相談

市子育て支援課子育て支援班 ☎内線1169・1189

■子どもの相談 宮城県東部児童相談所 ☎0225-95-1121

宮城県東部保健福祉事務所母子・障害班 ☎0225-95-1431

■子どもの人権110番

法務省人権擁護局 ☎0120-007-110(全国共通・無料)

■警察相談 石巻警察署生活安全課 ☎0225-95-4141

子育てに悩んでいる人を見かけたら…親子にやさしいまなざしを

いろいろな悩みが複雑に絡みあって問題が起きていることが多いので、決して責めずに「大丈夫?」と声をかけてあげてください。

気づいたら、まず相談を

子どもの様子がおかしいと気づいたら、保健師、保育所、幼稚園、小・中学校、高校の先生、民生児童委員などに相談してください。

■問 子育て支援課子育て支援班 ☎内線1169

11月・12月は、県税・市町村税の「宮城一斉滞納整理強化月間」です

県と市町村では、11月から12月の2カ月間、ご自宅への電話や通知での催告、財産調査(預貯金・給与・不動産など)、滞納処分執行(差押え・捜索・自動車タイヤロックなど)など、県税・市町村税の徴収対策を集中して実施します。

税金は、より良いまちづくりを進め、教育・福祉・公共整備などのさまざまな行政サービスを行うための大切な自主財源です。

行政サービスに必要な経費を公平に負担してもらうためにも、納期限を過ぎても納めていない税金がある方は、早急に納めてください。また、病気やけがで働けなくなったなど一括での納税が困難な場合は、納税相談をしてください。

※毎週火曜日は夜間収納窓口(20時まで)、毎月第1日曜日は休日収納窓口(8時30分～17時15分)を開設しています。

税金を滞納すると…

・納期限までに納付されない税金には、本来納めるべき金額に延滞金などが加算されます。

・滞納が続く場合は滞納処分が行われます。

督促…納期限までに税金が納付されない場合、督促状を郵送します。

財産調査…督促状を送付しても納付されない場合は、勤務先、取引先、金融機関などに対して財産の調査を行います。必要に応じて自宅などの捜索も行います。

差押…財産調査で発見した財産(預貯金・給与・売掛金・不動産・動産など)を差押えします。

換価…預貯金、給与及び売掛金などは取り立てにより、また不動産や動産は公売により換価(換金)し、滞納している税金に充当します。

■問 収納対策課収納対策班 ☎内線1143～1146

全国瞬時警報システム(Jアラート)の全国一斉情報伝達訓練の実施

全国瞬時警報システム(Jアラート)の全国一斉情報伝達訓練のため、防災行政無線による訓練放送が行われます。災害と間違えないようにお願いします。

■日時 11月25日(水)11時頃

■区域 東松島市全域

■問 防災課危機対策班 ☎内線1164



11月11日(水)～17日(火)は税を考える週間です

～テーマ:税の役割と税務署の仕事～

○納税表彰式

■日時 11月13日(金)14時～

■場所 石巻グランドホテル

■主催・問 石巻税務署管理運営部門 ☎0225-22-4151

○「税を考える週間」イベント

■日時 11月14日(土)11時～

■内容 税金クイズ、一億円体験コーナー、「税に関する絵はがき」コンクール選考会など

■場所 イトーヨーカドー あけぼの店

■問 公益社団法人石巻法人会 ☎0225-93-6704

年末調整説明会を開催します

■日時 11月17日(火)13時30分～15時30分 ※受付開始:13時～。

■場所 市コミュニティセンター1階ホール

■開催(共催) 東松島市・公益社団法人石巻法人会・石巻税務署

※当日参加できない場合は、国税庁ホームページの「税に関する動画」内の「年末調整のしかた」と「法定調書の作成と提出」を視聴することができますので、利用してください。

URL: <http://www.nta.go.jp/webtaxtv/index.html>

■問 石巻税務署法人課税第一部門源泉担当 ☎0225-22-4151

地方税の申告はeLTAXをご利用ください

eLTAXは、法人住民税や固定資産税(償却資産)、個人住民税(給与支払報告書等)の電子申告など、地方税における手続きをインターネットを利用して電子的に行うシステムです。eLTAXのサービスは無料で、手続きは自宅やオフィスなどから複数の地方公共団体へまとめて一度に送信できます。

■利用時間 8時30分～24時

※土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く。

詳しい内容はホームページをご覧ください。(http://www.eltax.jp/)

■問 一般社団法人地方税電子化協議会(eLTAXヘルプデスク)

☎0570-081459

東松島市内の放射線測定

市では現在、市役所本庁舎西側通用口付近に、国の放射線測定可搬式モニタリングポストを設置していることから、この測定結果を掲載します。

空間放射線線量率調査結果(市役所西側通用口付近 地上1m:午前8時現在)						
測定月日	10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日
測定値(単位:μSv/h)	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032

※原子力規制委員会のホームページでリアルタイムの測定結果を公表しています。

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

■問 環境課環境班 ☎内線1155

ともに復興へ

みんなが主役の

市民協働のまちづくり 29

問 市民協働課協働推進班 内線1281

平成27年度自治宝くじコミュニティ助成事業 ～宝くじの助成金で備品を整備～

赤井地区自治協議会は、一般財団法人自治総合センターから平成27年度自治宝くじコミュニティ助成事業の採択を受け、「オラが古里 赤井はひとつ」を合言葉に活動している赤井地区の活動への有効活用が図れるよう備品の整備を行いました。

■助成額 250万円

■助成による整備内容

折りたたみホームベンチ、折りたたみイス、脚折りたたみ式テーブル、ステンレスガス串焼器、高足付鉄板焼、発電機、伸縮型テント、テント用三方幕、業務用掃除機



▲整備した備品はオール赤井まつりなどのイベントで活用されています

会長コメント

今回の宝くじ助成により整備した備品は、9月に開催した「オール赤井まつり」をはじめ、各自治会の夏祭りなど交流事業に活用させていただき、有意義な事業が繰り広げられました。これからも宝くじ助成で整備した



▲赤井地区自治協議会 渥美耕太郎 会長

備品を大いに活用し、コミュニティの推進に役立てていきます。

また、赤井地区の合言葉である「オラが古里 赤井はひとつ」を目指して地区民の親睦と融和を図り、住民総参加でまちづくりに取り組みながらよりすばらしい赤井を構築してまいります。

東松島市ポータルサイト「e-コミ!ねっと」会員募集

いつでもどこでも情報を発信・収集でき、市民が必要とする情報を提供する地域特化型ポータルサイトが「e-コミ!ねっと」です。この会員になることで、地域の各種団体や小規模なサークルの活動や観光などの市民活動情報を発信することができます。パソコンだけでなく、携帯電話や電子メールでも利用できますので、手軽にミニホームページの管理者になることができます。

市では、「協働のまちづくり」をテーマとし、地域まちづくり推進の原動力となる地域活動や市民活動を情報発信の面で支援して行くために活用しています。ぜひ、一緒に地域の情報を発信していきませんか。

○地域ポータルサイトとは…地域の観光情報やイベント情報、産業、文化情報などを総合的に取り扱うサイトのことです。必要な情報を様々な分野で活動する方々が共有することで、地域の産業育成やコミュニケーションを活性化することを目的としています。

■対象 市内で活動する団体・個人・事務所など

※登録・利用料は無料。通信料は各自負担。

■禁止事項

- ①営利追求を目的とした物品販売や促進、宗教活動や政治活動などをあせんする記事の掲載
- ②民族・人種・性別・年齢などによる差別につながる表現の記事の掲載
- ③そのほか公序良俗、一般常識を欠く行為や記事の掲載

■申し込み 市役所市民協働課内に来所のうえ、申し込み

■提出する書類

・持参するもの

①団体(個人)についての概要と活動内容が分かるもの(無くても受付は可)

・記入するもの ※市民協働課で配布します。

①東松島市地域ポータルサイト「e-コミ!ねっと」申込チェックリスト

②「e-コミ!ねっと」会員登録申請書

その場で受付審査を行い、適性と認められた申請者の方にはIDとパスワードが記載された登録完了通知を発行します。

■問・申し込み 市民協働課協働推進班(e-コミ!ねっと事務局) 内線1283 E-mail:e-com @ city.higashimatsushima.miyagi.jp

矢本東地区震災復興講演会

■日時 11月5日(木)19時開会

■場所 矢本東市民センター

■テーマ 首都直下型地震及び東南海、南海地震の概要と宮城県及び東松島市周辺への影響について

■講師 元東京大学地震研究所助教授 工藤 一嘉先生

これまで国内外数多くの強震観測、余震観測、被害調査、地下構造調査など実施。その関係で、政府や自治体等多くの委員、顧問を任命され、また、学術関係では日本地震工学会副会長や日本地震学会の理事などを歴任。国際シンポジウムの主催にも尽力された。



小野地域ふるさと愛あいまつりの開催

■日時 11月15日(日)

9時30分～14時

■場所 小野市民センター

■主な内容 ステージ演芸(地元出身のお笑い芸人、歌手)、軽飲食の販売、ブルーインパルスJrの展示など

※奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊も参加予定。

■問 小野市民センター ☎87-2067



第13回北赤井地区大根狩り

県内でも有数の野菜産地である東松島市北赤井地区の特性を活かし、「第13回北赤井地区大根狩り」を27年度も開催します。

当日は参加費500円で指定された袋に大根が詰め放題となります。また、新鮮な野菜や新米の即売会も同会場で開催され、参加者には無料で豚汁が振る舞われます。ぜひ会場にお越しください。なお、大根が無くなり次第詰め放題は終了となりますので、あらかじめご了承ください。

■日時 11月15日(日)9時～

※雨天などによる変更あり。大根が無くなり次第終了。

■場所 北赤井地区星場地区のほ場

■受付 8時30分から、会場にて行います

※事前申込みは行っていません。

■問 農林水産課農政班 内線2142



あったかいホール

チャレンジショップ(あったかいホール1階)では、地元の旬の野菜・海苔や手作り小物を販売しています。ぜひお越しください。

○布草履教室

■日時 11月14日(土)・26日(木) 13時～16時

■材料費 500円

○楽しい手作り～土台から手まり作り～

■日時 11月11日(火)・24日(火) 13時～16時

■材料費 500円

○健康麻雀教室

■日時 11月13日(金)・20日(金)・27日(金) 13時～16時

■受講料 500円

○東松島すまいるひろば

■日時 11月20日(金) 10時～12時 ※参加無料。

■主催 ベビースマイル

「あったかいホール」開館時間のお知らせ

■チャレンジショップ(1階) 10時～16時、日曜休館

※あったかいホールは、祝日もお休みとなりました。

■問・申し込み ☎98-6061 FAX:98-6062



CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、皆さんにお届けします。
 <掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>



みんなで楽しむ秋のくらっぱ



蔵しっくパークの文化祭と「くらっぱランド&くらっぱ市」が同時開催され、幅広い世代の来場者でにぎわいました。ランドでは輪投げなどのゲームコーナーに子どもたちの笑い声が響き、文化祭では文化講座「くらっぱ蔵部」の講師や受講者のほか、市民の作品などが展示されました。くらっぱ蔵部の体験コーナーもあり、訪れた人たちは芸術の秋を満喫していました(10月3日、蔵しっくパーク)



文化の力で日々いきいきと

高齢者対象の生涯学習教室「宮城いきいき学園石巻校」の第20回文化祭が開かれました。市コミュニティーセンターを学び舎に月2回受講している学園生たちが、展示やステージ発表などで日頃の文化活動の成果を発揮しました。受講生のほかに仮設住宅入居者や「おどっちゃ矢→もっと」のよさこい踊りなども好評でした(10月3日、市コミュニティーセンター)



笑顔はじける秋まつり ほっとふる&あいあい

「ほっとふる&あいあい秋まつり」には100組を超える親子が訪れ、ゲームコーナーやママカフェなどを楽しみました。県栄養士会がレシピを考案した特製のおやつ「さつまいもとリンゴの甘煮」の試食コーナーもあり、おいしそうにほお張る親子の姿が見られました(10月9日、ほっとふる)



お父さん、お母さんと一緒に運動!

第23回リフレッシュフェスティバルの一環で開かれた「親子運動あそび教室」には、市内の年中・年長児とその保護者の計21組が参加しました。社会体育指導員が講師となり、親子で気軽に取り組める柔軟体操やサーキット遊びなどを繰り広げました。(10月11日、赤井地区体育館)



楽しい時間ふるさとで共有

住民主体のイベントとして開かれたのびる地区民まつりは、さまざまなステージや出店でにぎわいました。震災後、仮設住宅に入居した人も多い同地区にとって、地区民まつりは再び人々が集い、語らえる場としても大切にされています。来場者たちは楽しい時間をともに過ごし、地区としての結束を強めていました(10月4日、野蒜市民センター)